

令和4年4月14日

名 称 京都府茶協同組合
代 表 者 理事長 森下康弘

地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業の
実施主体との連携について（同意書）

下記事業につきまして、京都府茶協同組合として連携することに同意いたしました。

記

1. 事業名：さあ、宇治茶マラソン。
2. 実施主体名：公益財団法人京都府公園公社

<担当者>

所属部署：公益財団法人京都府公園公社山城運動公園管理事務所

担当者名： 不破 喜昭

電話番号： 0774-21-0383

以上

さあ、宇治茶マラソン。(公益財団法人京都府公園公社)

【京都府宇治市】

総事業費：7,000千円
(補助見込額：6,000千円)

< 様式 4 >

事業の概要

宇治茶の【健康】という新たな要素を取り上げ、掛け合わせがなかった「スポーツ」と掛け合わせ、宇治茶を磨き上げる。新たなスポーツフェスを実施し、【マラソンツアーリズム】を体現する。フェスを通じて、「人と宇治茶」「産業」が活き活きと健康を維持し活性化する場を創造する。スポーツで汗を流す大会に対し、宇治茶をテーマに選手のサポート、交流、価値体験をプログラムに組み込む。茶や健康関連の企業、大学などの研究機関等の出展を募り、交流を通じて新しい茶関連産業の創出や伝統の維持に貢献する。荒廃茶園を利用するコースや、新規事業の取組で持続可能な観光地域づくりを推進し、インバウンド受け入れを整える。

これまでで活用した事業

障害多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業	地域の観光資源の磨き上げを通じて地域内連携促進事業
○	

<p>実施体制</p>	<p>【実施主体】公益財団法人京都府公園公社 【連携組織】公共財団法人京都府スポーツ協会、京都府教育庁、宇治市茶業会議所、宇治市茶業会議所、京都府茶協同組合、お茶の京都DMO、株式会社日商社、株式会社、株式会社JB京都中央支店 株式会社オフィスイベントラボ</p>
<p>地域の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題点①：宇治観光の状況は、観光資源代表である平等院に観光客の約8割以上が訪れるなど、一極集中化 ⇒滞在時間を引き延ばすコンテンツの造成、宇治を訪れたことがない人への情報発信力の強化が必要 課題点②：宇治茶業界は、コロナによるインバウンド消失で市中での直接売上が激減。海外に向けては、輸出・越境EC等を強化すべく取り組むも「宇治」「宇治茶」の認知が低い ⇒新たな価値創出で「宇治茶ブランド」「宇治茶新事業」を拡大・創出が必要
<p>造成する看板商品の内容</p>	<p>さあ、宇治茶マラソン。 マラソン等をメイン種目としたスポーツフェスだが、それにとどまらず、宇治茶の多面的な取組の創出を生み出す。今まで大々的に取り上げていなかった宇治茶の【健康】という新たな要素に焦点を当てたスポーツフェスを実施。 ・開催日程：2022年10月30日(日) 予定 ・販売価格：参加者@3,500円(その他年齢別)、企業出展：@50,000～ ※検討中 ・ターゲット：府民(府民総体オーブンニングの位置づけ)、将来はお茶を愛するインバウンド。 ①宇治茶をほとんど絡めたマラソン・ウォーキングコンテンツ → 課題点①解決に寄与する マラソンコンテンツには【茶比べマラソン】(宇治茶エイドステーション)という要素を取り入れ、宇治茶を全面的にアピール。【走って身体を動かしたその後に、宇治茶を飲む】という要素を全面的にアピール。【走って身体を動かしたその後に、宇治茶を飲む】という要素を取り入れ、宇治茶を全面的にアピール。【走って身体を動かしたその後に、宇治茶を飲む】という要素を全面的にアピール。 この一連の流れで宇治茶の癒し効果や賞賛効果を感じることができる。 またウォーキングコンテンツでは、【宇治茶スイーツオーキング】を実施し、参加を促進する。 ②宇治茶新事業の実施 → 課題点②解決に寄与する スポーツ参加者、企業、研究者、茶産業者が集い、楽しみながら交流し、健康な頭と体で、宇治茶の伝統継承(体制と多角的な新事業を創出する。「飲料」としての茶だけではなく、新たなビジネスを創出する場を提供する。 【大茶鍋交流】：参加者みんなで「茶鍋」を食べながら交流。 茶鍋＝出がらし茶葉を野菜代わりに入れた鍋。ポン酢とよく合い、血圧も下がり、健康を体現している。新たな名物料理として認知拡大の機会になる。レシピも配布。 【宇治茶ロウリュウ】：今話題のサウナバスを配車する。サウナに入ると血流は安静時の2倍近く亢進。その結果酸素の摂取量が増え、筋肉疲労物質を分泌するなど、肉体疲労を回復し、エネルギー再生産がなされて疲労回復の効果が上がる。そのサウナと新たな事業開発をする。出がらし茶葉を使い、宇治茶の成分を含んだ宇治茶ロウリュウサービスを行う。宇治茶の持つ、癒し効果・抗菌免疫効果・覚醒効果などを感じ、健康促進に寄与する。宇治茶事業者で本イベントに向けてロウリュウを開発し、活性化を図る。</p> 
<p>独自性などアピールポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宇治茶の【健康】という点を取り上げ、掛け合わせがなかった「スポーツ」と掛け合わせ、新規性・独自性を持つスポーツイベント。 ストレス社会・健康寿命等の社会課題、伝統の継承だけでは先細る茶産業者の課題に対し、様々な側面で宇治茶に関係し愛する人たちが活き活きとしたスポーツフェスに集い、業界を超えて交流することで「インバウンド」を起す事業ビジョン。 宇治茶の新規事業【大茶鍋交流】(宇治茶ロウリュウ)では「出がらし茶葉」を使う、という取り組みを行うことで、持続可能な観光地域づくりに寄与することができる。
<p>主なスケジュール</p>	<p>採択 → 企画詳細・施工・運営計画(3か月：6～8月) → 広報・PR、販売、現場最終準備(3か月程度：6～9月) → 本番(10月) → 実績・分析、次年度以降の改善計画(12～1月頃) ※現段階の予定</p>